

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
五島市	福江地区(大津集落)	令和3年3月5日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	220.26ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	115.71ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	54.82ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	35.56ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.52ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	45.14ha

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地については遊休農地があり、狭小地が多い。</li> <li>・農地の形状は、圃場に入る道が狭く、形が悪いため作業効率が悪い。</li> <li>・人材については、高齢化が進んでおり担い手不足で、今後耕作者不在と予想される農地があり改善が必要である。</li> </ul>
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者のほか、入作を希望する他地区の認定農業者や認定新規就農者、法人等の受入れ促進により対応していく。
--

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<b>【農地中間管理機構の活用方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の効率化や貸借契約事務の簡素化を図るため、機構を活用した経営農地の集約化を目指す。</li> <li>・中心経営体が病気や怪我などの事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることが出来るよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。</li> </ul>
<b>【基盤整備への取組方針】</b> <p>農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備を検討する。</p>
<b>【新規・特産化作物の導入方針】</b> <p>収益性の高い園芸作物の生産に取り組む。</p>
<b>【鳥獣被害防止対策の取組方針】</b> <p>積極的に目撃情報を情報共有し、ワイヤーメッシュ柵の取り付けや捕獲体制の構築等に取り組む。</p>
<b>【害対策への取組方針】</b> <p>台風などによる水害防止のため、排水施設などの整備に取り組む。</p>